

1. 第5期指定管理 運営基本方針「街とともに 未来を育む 人づくり」

地域住民や市民の協力のもと、子育ての活動拠点施設として、児童の健全育成と社会課題の解決の双方に寄与する事業を展開する。

- ① 子どもの意見を反映させ、子どもとともに進める会館運営を目指します。
- ② 多様性を認め合い、自分らしく過ごせる環境を整え、子ども同士が互いに協力しあえる活動を目指します
- ③ 児童会館の持つ多機能性を最大限に活用し、地域の子育て拠点となる事業展開を目指します。
- ④ 専門機関や財団他部門との連携を強化し、健全育成と子どもを取り巻く課題の解決を目指すとともにエキスパートの育成を目指します。
- ⑤ これまでの運営ノウハウを礎に、新たな時代やニーズに即した運営方法の確立を目指します。
- ⑥ 効果的、効率的な組織運営を進めるとともに、より創造的な経費の活用を目指します。

2. 事業方針

- (1)こども家庭庁の設立や「こども大綱」の制定、札幌市の子ども・子育て支援に関する総合計画の次期策定に向けた動きに注視し、各制度の理解を深めるとともに、情報収集による実態把握・分析を行うことで今後の実効策を明らかにする1年としていく。
- (2)「人材育成」と「人材育成を行う指導者の育成」に取り組み、両者を有機的に結びつけ相互作用をもたらす仕組みを構築することに加え、職員研修や日常業務の中で職員が目指すべき方向性を一致させていくことで新たな時代やニーズに即した施設運営につなげる。

3. 重点事業

①青少年活動支援事業

子どもたちが安全に過ごせる居場所づくりと各事業を通して子どもたちの自立を促進する。

②体験機会創出事業

各児童会館や地域の特性を踏まえ、子どもたちが輝ける事業を展開する。

③施設管理運営事業

法令を遵守し、利用者等の安全確保及び施設・設備の維持管理、施設貸与を行う。不測の事態に備え、危機管理事業の実施により危機管理の徹底を図る。

4. 数値目標(具体的な根拠を示すこと)

	項 目	2024 年度目標値	2023 年度見込み
1	利用者総数(全市集計)	4,065,000 人	3,730,000 人
2	事業プログラム参加者総数	735,000 人	687,000 人
3	利用者アンケート 総合満足度	85.0%以上	86.7%

5. 事業実施計画書(地域活動等事業)

(1) 施設名等

No	種類	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	継続	札幌まなびのサポート事業	【目的】学習習慣を身につけさせることにより基礎的な学力の向上を図り、自尊感情や自己肯定感を持てるような居場所を提供する。職業体験機会を提供し将来への展望を持たせると共に保護者に対して情報提供等行い生活習慣の向上につなげる。＊保健福祉局保護課からの委託事業 【内容】札幌市内40会場での学習支援事業(R4～R6) 【対象】生活困窮世帯の中学生 【人数】市内40会場 600名	【R5年度実績予測】	
				通年	40会場 各48回程度
				【R6年度】	
				通年	40会場 各48回程度

6. 事業実施計画書(施設運営等事業)

No	種類	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
1	継続	講習会・発表会	【目的】子どもたちの想像力を引き出すとともに、継続的な活動の中から達成感や自己肯定感の醸成を図る。館主体の活動から地域や保護者を取り込む新たな活動への展開を図る。 【内容】: 人形劇クラブによる発表 【対象・人数】: 小学生	【R5年度実績予測】	
				通年	810回
				【R6年度】	
				通年	413回
2	継続	鑑賞会	【目的】多様な文化や芸術に触れることで子どもたちの情操や感性を育む。 【内容】人形劇、読み聞かせ、映画鑑賞など 読み聞かせ事業 児童会館・ミニ児童会館 全館にて実施 【対象・人数】会館により設定	【R5年度実績予測】	
				通年	3500回
				【R6年度】	
				通年	4542回
3	継続	社会奉仕活動	【目的】地域社会の一員としての自覚、地域への愛着、人とのつながりの大切さに気付くことを目的に実施する。 【内容】ゴミ拾い、施設訪問、防犯活動 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	140回
				【R6年度】	
				通年	181回
4	継続	交流事業	【目的】同世代、世代間交流等とおし、さまざまな人と関わることで子どもたちの社会性を育むとともに、地域の活性化に寄与する。 【内容】子育てサロン、親子交流、世代間交流、地域交流、他館との交流事業などを実施する。 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	11000回
				【R6年度】	
				通年	10981回
5	継続	季節行事・パーティー	【目的】日本の四季の移り変わりや自然や風土文化を楽しみながら感じる心を育む。 【内容】ハロウィンパーティ、クリスマス会、大掃除など 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	650回
				【R6年度】	
				通年	583回

No	種類	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
6	継続	野外・自然体験活動	【目的】自然とのふれあいや体験活動をとおして、創意工夫する楽しさ、協力することの必要性を学ぶ。 【内容】意図的なプログラム展開により効果性の高い事業を実施する。野外体験事業、キャンプ事業、畑活動、遠足、登山など 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	4500回
				【R6年度】	
				通年	1103回
7	継続	伝統芸能活動	【目的】日本の伝統文化に対して興味関心を寄せる機会を設け、より良い文化を受け継いでいく心を育む。 【内容】伝承あそび、生け花教室、茶道教室、将棋教室、華道教室など 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	2041回
				【R6年度】	
				通年	2689回
8	継続	体力増進・スポーツ	【目的】スポーツをとおして、健康の増進を図り、仲間とともに協力する大切さや、ルールやマナー等を学ぶ機会とする。 【内容】発達に応じた集団あそび・スポーツを実施する 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	2000回
				【R6年度】	
				通年	2159回
9	レベルアップ	子ども運営委員会	【目的】子どもの権利条約等を念頭に置き、事業、日常活動ともにこれまで以上に、子どもの意見を反映し子どもが参画する施設運営を目指す。意見表明から自己実現までのプロセスの中で、子どもたちの自主性や創造性を育むとともに、自己肯定感や他者受容、模範意識を学ぶ機会とする。 【内容】子ども運営委員会 全館で実施 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	3800回
				【R6年度】	
				通年	3868回
10	継続	危機管理事業	【目的】万が一の災害に備えて、利用者の安全確保のために危機管理の徹底を図る。 【内容】避難訓練 不審者訓練等 全館で実施 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	600回
				【R6年度】	
				通年	649回

No	種類	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
11	継続	創作活動	【目的】子どもたちの豊かな発想や想像力、創造性、創意工夫する力を育む。 【内容】工作会など 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	2200回
				【R6年度】	
				通年	1548回
12	継続	読書活動	【目的】本に親しむ環境を整え、興味関心を広げ、豊かな情操を育む。子どもたちの意見を取り入れた読書環境の改善を行い、読書活動の習慣化を図る。 【内容】図書アンケート、図書システムの検証など 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	260回
				【R6年度】	
				通年	879回
13	継続	学習活動	【目的】学校や地域との連携を強化し、あそびと融合させながら学習効果を得られる活動の充実を図る。 【内容】身近な素材を使った科学実験や地域資源を生かした幅の広い体験活動を実施する。学習レシビを活用して実施する。 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	200回
				【R6年度】	
				通年	500回
14	継続	リーダー育成事業	【目的】リーダー育成を推進し、次世代につながる育成に取り組む。 【内容】高学年リーダー育成 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	310回
				【R6年度】	
				通年	541回
15	レベルアップ	環境活動	【目的】環境保全に対する意識の醸成を図り、環境に配慮した事業を行う。 【内容】環境プラザとの連携事業・SDGsを意識した事業展開 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	100回
				【R6年度】	
				通年	88回

No	種類	事業名	目的・内容・対象・人数等	時期	回数
16	継続	合同行事	【目的】ブロック内の児童会館の連携を強め、地域に児童会館の存在や役割をアピールする機会とする。 【内容】各ブロックにて設定 【対象・人数】各ブロックごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	1571回
				【R6年度】	
				通年	333回
17	継続	その他	【目的】日常活動の充実、体験活動機会を促進し子どもたちの主体性や自己肯定感を育む。 【内容】来館者企画事業、各会館にて設定 【対象・人数】各会館ごと設定	【R5年度実績予測】	
				通年	2254回
				【R6年度】	
				通年	1815回
18	継続	周年事業	【目的】各会館が経てきた年月を地域と共に祝う。 【内容】地域還元事業として実施する。既存事業に組み込んで実施する場合もある。 50周年：ひのまる 40周年：札苗 他4館 30周年：円山西町 他4館 20周年：白石小ミニ 他3館 10周年：新川小ミニ 他7館	【R5年度実績予測】	
				通年	21回
				【R6年度】	
				時期未定	19回
19	レベルアップ	ふり→たいむ事業	【目的】中・高校生が安心して過ごすことができる居場所作りを行い中・高校生の活動、活躍の場をつくる。週2回実施（長期休業中除く） 【内容】中・高校生の意見を直接聞き取り実施につなげる。地域の中・高校生が、地域イベントで活躍するよう、自ら楽しいイベントを企画し成功を体験する機会を創出する。 【対象】中・高校生	【R5年度実績予測】	
				通年	各会館 週2回
				【R6年度】	
				通年	各会館 週2回
20	継続	児童会館実習指導業務	【目的】児童会館において教育活動に対する社会貢献の一環として将来の担い手となる実習生の受け入れを行う。また、受け入れをとおして、児童会館のPRと職員採用に向けた広報を行う。 【内容】児童会館実習オリエンテーションおよび指導業務 116館 【対象・人数】大学生 専門学校生	【R5年度実績予測】	
				通年	116館 143人
				【R6年度】	
				通年	116館 130人

21	継続	他都市連携・外部連携事業	【目的】全道・全国の児童館・児童クラブや民間企業や他団体との連携事業の展開により、新たなノウハウや情報の取得を目指す。こども家庭庁の動向を注視しながら、情報収集を図る。 【内容】全道の指導者による情報交換の場(放課後子どもミーティング)を実施する。	【R5年度実績予測】	
				通年	1回
				【R6年度】	
22	レベルアップ	他課連携事業	【目的】当財団各部署が持つ強みを繋げ合わせ「人材育成」や「事業連携」「情報交換」のレベルアップを図る。 【内容】若者活動支援、子どもコーディネーター事業と連携を図りながら個別援助業務に対応する。 こどもの劇場、企画事業課、野外施設、男女共同参画センターとの連携 中島モデル事業	【R5年度実績予測】	
				通年	随時
				【R6年度】	
23	継続	広報活動	【目的】児童会館が持つ機能や役割・強みについて活動協会内外に発信しブランディングを行う。 【内容】各事業・プロジェクトにおいて、機能や役割を整理し広報物を作成し発行する。 各種事業について、児童クラブ見守りシステムとHPを連動させて、児童会館情報を素早く保護者に周知する。 【内容】あそびの発行 年4回発行 ニュースリリース 年4回発行	【R5年度実績予測】	
				通年	随時
				【R6年度】	
24	レベルアップ	子どもの権利推進事業	【目的】子どもの権利条約等を念頭に置き、より多く子どもたちの意見が会館運営に反映できるよう子どもに対応する職員の意識醸成を図る。 【内容】セーフガーディング研修の実施 【時期・回数】有期雇用者職員採用時(月2回)	【R5年度実績予測】	
				通年	随時
				【R6年度】	
25	レベルアップ	あそびのフェスティバル	【目的】あそびをとおした世代間交流を図るとともに、児童会館活動を広く市民の方に理解していただく。また、職員の技術向上を目指し、職員同士が専門的技術を伝える場とする。 【内容】あそびのフェスティバル(中島児童会館かもくま祭と合同実施) 【対象】幼児～大人 【人数】2,000人	【R5年度実績予測】	
				7月	1回
				【R6年度】	
				7月	1回